



## 2. 管の受口の部分は普通塗装ですが、さびる心配はないのですか？



管路を流れる水道水の水質によっては、長年経過した後に接触した部分でさびを生じる可能性があります。しかし、管の受口部分のように、水道水が頻繁に入れ替わらない場所では、さびの発生に必要な酸素量が制限されるため、さびの進行も極めて遅くなります。近年では、事業者からの更なる水質向上の要請が高まっていることから、普通塗装下への亜鉛系プライマの下塗りが一部の製品（ダクタイル鋳鉄直管）に適用されたり、エポキシ樹脂粉体塗装管では、受口内面部分まで塗装範囲を拡げるなどにより、品質の向上に努めています。

